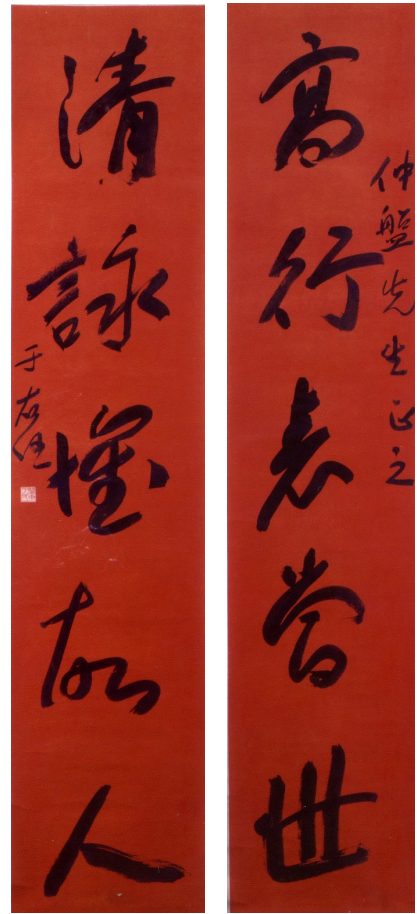


日	曜	常設展示室・展示室
1	木	春の所蔵品展 <b>「一行書の魅力」</b> 会期：2025年4月4日(金)～5月6日(火・休) ※ただし4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館。
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	展示替えのため休館 5月8日(木)、9日(金)
8	木	
9	金	
10	土	夏 <span style="font-size: 2em;">の</span> 所蔵品展 <b>「対聯の魅力」</b> 会期：2025年5月10日(土)～6月14日(土) ※ただし5月19日(月)は臨時開館。  <b>展覧会内容</b>  対聯は、同じ形式に意義の対応する二句を並べて書いた「対句」を、門柱や家屋の入り口の壁に書いたり、紙や布に書いて軸にしたり、竹や木、柱に刻んだものを言います。対聯は、近体詩の対句が独立したものであり、字数は近体詩のような制約を受けないものの、詩におけるよりもさらに厳密な対句をなしています。  中国の伝統文化、建物の装飾の一つで、慶弔時に一時的に貼るものと、恒常的に掲示するものがあります。新年に貼るものを「春聯」と呼び、この風習は宋代に普及しはじめ、明代以後に一般化しました。  本展では、清代の書家の様々な書体で書かれた対聯作品を紹介し、その魅力に迫ります。
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

「一行書」に続く所蔵品展のテーマは「対聯」です!ここでは対聯の魅力<sup>を</sup>を文字にしてお知らせします!

対聯の起源は漢字と同様、中国にあります!今から千年以上前の五代(907-960)という時代に、当時の皇帝が寢殿の門に桃符(厄除けの門神像などを描いた桃の木<sup>の</sup>の札)をかけておくように学者に命じましたが、あまりにも不出来だったので自ら筆を執り、二聯を書いたとされます。これが記録にのこる最も古い対聯に関するお話です。また、この桃符の習慣についてはさらに古く、中国でも伝説とされる時代の出来事が書かれた「山海経」の中にはこう書かれています。昔、大きな桃の木がありその大きな枝の間を悪い鬼が出入りするため、その両脇に神荼と鬱皇という二神が取り締まり、人間に悪いことをする鬼がいたら、二人が捕まえて虎に食べさせたということです。この話から、黄帝は春節に邪気をはらうことを目的として、桃の木を門口に立てる事を礼式化したと伝えられます。この桃符に像を描いたものが門神として発展し、字を書いたものが対聯として発展していきました。なんと対聯は「邪悪なものを払う」というおまじないから始まっているのです!今では季節や行事、冠婚葬祭にその場にふさわしい語句が飾られる実用的な装飾としても活用される対聯。展示会場にはたくさんの対聯がかかっています。それぞれの門(対聯)から見える景色はどの様なものでしょう?その門を通ったら書いた作家の本意に触れることができるかもしれません。じっくりとその魅力に触れてみてください。



于右仁《一行書五言聯》

所蔵品展観覧料

一般	150円 (120円)
高校生以下無料	

※( )内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方
- 福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方  
(運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。  
※月曜日【    の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY

## 美 ふくやま書道美術館

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号  
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m Tel 084-925-9222  
Webページ [www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/](http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/)  
電子メール [syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp)